

## 水野 市長と地域との懇談会

日 時：令和6年8月10日（土）  
午後7時から午後8時20分まで  
場 所：水野地域交流センター  
参加者：18名

### 【内 容】

#### 市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進んでいる。
- ・分別が進んだので、燃えるごみの量が減り、晴丘センターの負担も減ったが、ごみ全体の総量では前年から3%程の減少と大きく減っていない。
- ・ごみの総量をさらに減少するため、分別を徹底するとともに、燃えるごみの中で一番多い調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に協力してほしい。

#### 市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- ・6月市議会にて、下水道料金の改定が議決された。
- ・下水道料金の料金改定は24年ぶりとなる。
- ・下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営を行うべきであるが、汚水処理する費用の約60%しか使用料で賄えていない。
- ・残りの40%は税金で補填している現状であり、下水道を利用していない方の税も含まれている。
- ・経費回収率は本来100%が求められるもの。今回の改定によって、近隣市と同水準の経費回収率80%となる予定である。
- ・これまで下水道事業に充てていた税を下水道の普及率向上や他の事業に活用していきたい。

#### 地域の課題：ごみの減量について

- ・ごみ袋の値上げをしていたら、さらにごみの減量につながったのではないか。ごみの総量の減少が3%に留まっているのは、値上げしなかったことが一因ではないか。将来的には、ごみ袋の値上げは必要だと考える。
- ・他県・他市の住民が瀬戸市にごみを捨てに来ていると聞いている。
- ・ごみ袋の値上げ議論の時は、10枚当たりの価格ではなく、1枚当たりの価格で議論をしてほしい。費用負担感が分かりやすくなるのではないか。
- ・ごみは、市民がルールに基づいて取り組むことにより減っていくと思うが、一

部に他人事のようにとらえている方もいる。そうした状況の中、今後も1枚18円の費用ですべてのごみ処理が行えるか疑問である。

- 市民のごみ出しの方法が適正化されているのか知りたい。
- 削減目標が達成された場合、なんらか市民にメリット（ごみ袋がもらえるなど）があると取組やすいのではないかと。
- 燃えるごみのうち11%が木・草類である。剪定枝は資源ごみであるが、まだまだ進んでいない。また、予約制のため、市民も面倒に感じて、燃えるゴミに出していると思われる。回収方法を検討してはどうか。
- ごみの捨て方教室を地域で開催してほしい。
- プラスチックごみの中に、洗っていない弁当のケースがそのまま入っていることがあり、食べ残しも混ざっていることがある。カラスが荒らす原因にもなり、市民への周知が必要。
- カラス対策のため、組費でボックスを設置しているが、地域外の人が時間外に捨てに来ている。
- 旧燃えるゴミ袋が、資源ごみ等に活用できることを知らない市民も多い。
- 尾張旭と長久手の燃えるごみ組成のデータも知りたい。
- 晴丘の処分施設の建て替え等の情報を広く市民に周知してほしい。子どもたちにはじめに周知することで、親にも広がっていくと思う。

#### 地域の課題：その他

##### （下水料金の値上げについて）

- 下水道の整備は、市が100%実施すべき。今回の値上げは会計的な側面や利用者間の公平性の観点が強いが、下水道の普及率を上げることが先決ではないか。
- 下水道の普及率の向上や下水処理施設の改修のための値上げではないと認識している。
- 下水道料金を値上げしても、なかなか受益者100%になるのは難しいのではないかと。

##### （道路整備について）

- 以前、水野中線で実施した交通量調査の結果を公表してほしい。
- 企業団地への交通量が増えてきて、大型貨物の交通量も増えてきた。道路規格の見直しも必要ではないか。道路整備を計画的に進めるためにも事前の調査を進めてほしい。
- 鹿乗地区は、大雨が降ると、土砂崩れの危険等で通行止めになることがある。今後、地震等の災害の際に避難経路となっているところもあり心配である。
- 多治見につながる県道15号線（愛岐道路）は雨や風が強いと、倒木や枝が飛

んでくることがあり、危険なところがある。

(地域交流センターについて)

- 高齢者が増加しているが、現在のセンターでは、高齢者が使用しづらい状況となっている。
- 地域交流センターとして、老朽化のため、収益を確保できるような施設となっていないので、建替えを検討してほしい。
- 地域交流センター化したメリットが感じられない施設状況となっている。